

学術研究所主催 主題別研究会 報告要旨(5)

第8回 子育て・家族研究会

日 時：平成17年11月16日(水) 14:30~15:30
場 所：第2会議室
話題提供：田川悦子(初等教育学科・助教授)
前野澄子(初等教育学科・講師)
話 題：報告「最近の米国における保育事情について」

報告要旨

平成17年度学術研究所研究「欧米の保育事情と小児保健の問題を組み入れた保育英語の研究・開発」に関連して、米国カリフォルニア州サンフランシスコ市(田川、平成17年8月)および米国ワシントン州ベルビュー市(前野、平成17年9月)の保育施設を視察した。

I. サンフランシスコ市

1. 保育施設訪問

C Preschoolは市内では中流以上の住民が多い閑静な住宅街にあり、2歳から5歳までの子どもを保育するために1989年に設立された。園長は日本語を解さない日系女性で、園児数52名(アジア系が多い)、保育者数9名、保育時間は朝7時30分から夕方6時までで、子どもの母親はすべて就労していた。保育者はサンフランシスコ州立大学あるいはCity Collegeを卒業してbachelor's degree(学士号)を有している。一日のスケジュールをみると、午前中はグループ授業や園外でのアクティビティーが行われ、ランチとそれに続く午睡の後には自由遊びの時間となっていた。ランチは自宅から持参、おやつは午前と午後に1回ずつ出されていた。

2. 保育制度について

サンフランシスコでは一般に乳児の集団保育は行われず、家庭でベビーシッターによって育てられている。preschoolは母親が就労していない家庭の子どもも対象としているが、保育料が\$700程度かかるため、C Preschoolの母親は全員就労しているということであった。子どもは5歳の9月から1年間のkindergartenに通うことになっている。

II. ベルビュー市

1. 保育施設訪問

ワシントン州ベルビュー市はシアトル市に隣接し、中流階級以上の住民が殆どを占める閑静な町である。日本からのビジネスマン等の大部分がこの地域に居住している。

市内3ヶ所の保育施設を視察し、英語の観点から考察を試みた。

(1) S Preschool (日本語名：S幼稚園)

園長 (Director) は米国人を夫に持つ日本人女性で、保育士資格、教員免許状は有していない。約10名の保育士は、日本の保育士資格のみを有している、米国と日本の保育士資格の両方を有している、米国の保育士資格のみを有している、の三様であった。園児は2歳から5歳までの約150名、非常に多様な人種構成の園児たちで、日本人が経営する幼稚園であるにもかかわらず、両親共ヨーロッパ系米国人の子どももいた。日々の活動は全て日本語で行い、正しい日本語の教育に重きが置かれていた。

(2) M Pre-School (日本語名：M保育園)

園長 (Director) は中学生の時に家族とともに米国に来た日本人女性で米国の保育士資格を所持し、保育士としての経歴は約18年である。0歳から5歳までの400名近くを擁する、同市内では最大規模の、日本でいわれる幼・保園に近い保育施設である。園児たちの人種的背景は同園でも極めて多様であった。日々の活動は主に日本語であったが、5歳児には英語の授業があり、スタッフにも米国人が数名いる。同園には午前中、小学校就学前1年の義務教育 (kindergarten) に通う子どもが、午後から来て学習できるシステムがあった。教員・スタッフは総勢50名以上であった。

(3) N Preschool

園長 (Director) は米国人女性である。同園はキリスト教会付属の幼稚園で、園児の殆どが英語を母語とする。従って、園での活動も全て英語で行われていた。しかし、日本人が多い土地柄でもあり、日本人女性のヘルパーが毎日勤務しており、日本語しか分からない園児 (訪問時には一人) の世話をしている。園児の総数は約200名、学習に重きを置いた活動に重点が置かれていた。

2. 英語について

保育に関する英語については、以下の点が注目された。

(1) 日本の「幼稚園」、「保育園」に相当するアメリカ英語

日本では、通常、幼稚園は kindergarten、保育園は nursery school と訳されてきているが、アメリカ英語においては、日本とは幼稚園と保育園の概念が違い、誤解されやすいので注意を要する。米国においては kindergarten は、5歳児対象の州政府によって義務付けられた小学校就学前1年間の義務教育を指し、通常 kinder と略して呼ばれる。preschool は日本の幼稚園に近いように思われる。通常2、3歳児から5歳児までを受け入れている。0歳児から受け入れる、日本でいう保育園は childcare center 等と呼ばれるのが普通である。

(2) 日本の「保育者」「保育士」に相当するアメリカ英語

保育士資格は通常2年制の短大 (community college) で、Early Childhood Education を専攻して取得する。従って、teacher という呼称は使用されない。義務教育である kindergarten で教えるには、4年制大学で教員免許状を取得しなければならない。従って teacher と呼ばれる。広義に保育者をいう場合は、普通 child caregiver と言う。これは、建物や施設等を管理する caretaker と対比され、助けを必要とする乳幼児や病人を保護するという意味合いが強い。

(3) anti-bias education : 米国における保育者養成の焦点

米国は様々な点において多様な社会である。あらゆる文化的背景の人々に対して公正でなければならないというのが、米国社会の基本である。従って、今後ますます多様化する人種構成や家族のあり方に、いかに対応していくかが、乳幼児を預かる保育の現場、保育者養成においても極めて重要な課題となっている。保育者養成の場では、これを anti (反) bias (先入観、偏向、偏見) education (教育) として、力強い取り組みが行われている。

